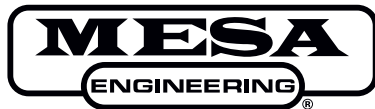


SWITCH-TRACK™

BUFFERED & DUAL ISOLATED ABY SWITCHER

取扱説明書



安全上の注意

- ・ この取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ この取扱説明書に従って下さい。
- ・ 全ての注意書きや警告にご注意下さい。
- ・ 本製品を水気のある場所の近くで使用しないで下さい。
- ・ 本製品を掃除するときは乾いた布のみを使用して下さい。
- ・ 今後も参照して頂けるようにこの取扱説明書を保管しておいて下さい。
- ・ 本製品の誤った接続やアース接続による故障は保証の対象外となります。
- ・ 本製品にはユーザーでは入手できない部品や、また静電気によるダメージを受けやすい部品が使用されていますのでご注意ください。
- ・ 正しい極性/電圧/電流が得られる電源アダプターやユニバーサルタイプのペダルボードパワーサプライのみを必ず使用して下さい。それ以外を使用した場合、音質や商品の性能が損なわれたり、または製品にダメージを受けることがあります！詳しくは、コントロールと接続についての項目や仕様の項目をお読み下さい。
- ・ 3ピンプラグのAC電源ケーブルをご使用の場合でも、アンプのセーフティーグラウンドを無効にしたり、外したり、リフトしたりすることは不当であるだけでなく、電気によるショックや感電をもたらす可能性がありますのでご注意ください。

オーナーズマニュアル&オペレーティングガイド

この度はMESA/Boogie製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。そしてMESA/Boogieファミリーへようこそ！アメリカ カリフォルニアのペタルマにある、私たちのたった1つのファクトリーで製作している全ての製品は、卓越性への情熱、品質に対するコミットメント、顧客サポートへの誠実さを持ち合わせています。世界で最も優れたアンプをハンドメイドで製作しているのと同じスタッフがSWITCH-TRACK™ BUFFERED & DUAL ISOLATED ABY SWITCHERを組み立てていますので、全てのユーザーが同じリソースを手にするすることが可能です。

OVERVIEW

SWITCH-TRACK™を使用すれば、2台のアンプとチューナーを接続してアンプを切り替えたり、同時に両方のアンプをONにしたり、アンプへの出力をミュートしてサイレントチューニングやギターの持替などを行うことが可能になります。インプットバッファーは、接続したギターまたはペダルに対して一定の理想的な負荷を与えることで本来のトーンを保ちます。バッファーは、信号のインピーダンスとノイズの影響を受けにくいため、片方または両方のアンプの出力がアクティブであるかどうかにかかわらず、トランスアイソレートされたアウトプットによりサウンドに劣化のない状態でのケーブル接続を確実に約束します。

本体の2つのストンプスイッチで、2台のアンプの切替、両方のアンプの同時ONまたはサイレントチューニングやギターチェンジを行えるミュートをコントロールします。ミュートをONにするには、左のストンプスイッチを約1秒間長押しして、OFFにするにはフットスイッチをもう一度押します。4つのLEDは、一方または両方のアンプのON/OFFの状態を表示します。

トランスアイソレートされた2つのアウトプットでは、グラウンドリフト・スイッチとフェイズリバース・プッシュボタン(MIDIプログラミングで選択可能)と伴って、グラウンドループのハムとノイズを安全に防ぎ、複数のアンプ使用時に発生する位相キャンセルの問題を修正することで、パワフルで劣化やノイズのないトーンを確保することができます。トランスアイソレートされていることに加えて、両方のアウトプットはバランス信号を伝送することが可能なため、30フィート(約9.1m)以上のケーブルを使用したときでもノイズ耐性と信号の完全性をさらに高めることができます。

プログラムチェンジまたはコントロールチェンジ・メッセージによるMIDIコントロールで、最大256のプリセットまたはインスタントアクセスでのMIDIシステム上でのコントロールも可能です。2つのストップスイッチとフェイズリバーブ・プッシュボタンは、MIDIコントロールと一緒にリアルタイムで使用できます。

コントロール&端子

スピーカーやその他のコンポーネントにダメージを及ぼすような予期しない大きな音を避けるために、接続している全ての機器、少なくともアンプの音量を下げた状態で接続を行うことをお勧めします。特定のアンプにおいては、スタンバイを解除してから約15秒程度無音状態でお待ちいただくことで、SWITCH-TRACK™との間の電圧が安定し、スイッチング・トランジェントが最小限に抑えられます。

2つのアウトプットの工場出荷時のデフォルト設定は、OUTA=アクティブ/ON、OUTB=ミュート/OFF、MIDIプリセット/パッチナンバーは#1です。これらの設定を変更するには「MIDIオペレーション」のセクションを参照してください。

LED A このアンバー色のLED点灯時は、OUTAがアクティブ/ONの状態、またはBOTHまたはMUTE機能のいずれかがOFFになってもアクティブ/ONであることを示します。

LED B この緑色/黄色のLED点灯時は、OUTBがアクティブ/ONの状態、またはBOTHまたはMUTE機能のいずれかがOFFになってもアクティブ/ONであることを表示します。

Note: LED BがOFFのときに、PHASEボタンの設定が変更された、MIDIメッセージでフェイズが変更された、または有効なMIDIメッセージが受信された場合、LED Bは0度=緑色、180度=黄色で1秒間点灯して現在の位相の状態を表示します。

LED BOTH この青色のLED点灯時は、BOTH(OUTAとOUTBの両方)がアクティブ/ONの状態、またはMUTE機能がOFFのときに2つのアウトプットがアクティブ/ONになることを表示します。

LED MUTE

この赤色のLED点灯時は、MUTEがONの状態、OUTAとOUTBの両方がミュート/OFFの状態であることを表示します。

Note: 特定のMIDIメッセージを受信すると、4つのLEDが一度点滅します。詳細については「MIDI OPERATION」のセクションを参照してください。

STOMP A/B

このスイッチは、LED AとLED Bが表示するとおり、OUTAとOUTBを切り替えます。

STOMP A+B

このデュアルファンクションスイッチは、スイッチを押して離れたときにはBOTH機能のON/OFFを切り替えます。スイッチを約1秒間長押しするとMUTE機能がONになり、LED AまたはLED Bが消灯してアウトプット端子がミュート/OFFの状態に切り替わります。スイッチを離すとLED AまたはLED Bが再びONになりますが、両方のアウトプット端子はミュート/OFFのままです。スイッチを再度押しとミュート機能がOFFになり、SWITCH-TRACK™と両方のアウトプット端子はLED A、LED B、LED BOTHが表示する状態に戻ります。

INPUT

この1/4" フォンジャックはインプットで、ギターやペダルからの信号をSWITCH-TRACK™のインプットバッファー回路に入力します。

OUTA

この1/4" フォンジャックはアウトプットで、トランスアイソレートされた信号を出力します。シールドされた1/4" TS(Tip/Sleeve)タイプの楽器用ケーブルを使用して、アンプまたはペダルのインプット端子に接続します。また、30フィート(約9.1m)以上のケーブルを使用する場合には、1/4" TRS(Tip/Ring/Sleeve)バランスケーブルを使用してCLEARLINK™CONVERTER/ISO TRANSFORMERのインプットに接続することでノイズ耐性と信号の完全性をさらに高めることができます。


OUTB

この1/4" フォンジャックはアウトプットで、トランスアイソレートされた信号を出力します。シールドされた1/4" TS(Tip/Sleeve)タイプの楽器用ケーブルを使用して、アンプまたはペダルのインプット端子に接続します。また、30フィート(約9.1m)以上のケーブルを使用する場合には、1/4" TRS(Tip/Ring/Sleeve)バランスケーブルを使用してCLEARLINK™CONVERTER/ISO TRANSFORMERのインプットに接続することでノイズ耐性と信号の完全性をさらに高めることができます。


Note: シールドされた1/4" TS(Tip/Sleeve)楽器用ケーブルを使用する場合は、高品質でケーブルの長さが最短となるよう常に心がけてください。

TUNER

この1/4" フォンジャックは常時ONのアウトプットで、SWITCH-TRACK™のバッファー回路からバッファリングされたローインピーダンス信号を出力します。このジャックをチューナーのインプットに接続して、シグナルチェーンから離してください。

 [GROUND] このプッシュボタンは、OUT AジャックとSWITCH-TRACK™のアース接続を安全にリフト(アイソレート)して、グラウンドループに起因したハムやノイズを除去します。ボタンが「IN」ポジションのときはグラウンドが接地され、「OUT」ポジションのときはグラウンドがリフトされます。OUT Bには同じ機能の内部スイッチがありますが、OUT Bは常時グラウンドリフト状態のためこのスイッチの通常のポジションは「IN」に設定されることとなります。グラウンドループに起因した予期せぬハムやノイズが発生した場合は、このスイッチの両方のポジションを試してみて、ハムとノイズが最小となるよう設定してください。

Note: オーディオアイソレーショントランスを内蔵している機器は、アンプ、エフェクトプロセッサ、電源アダプター、ユニバーサルタイプのペダルボードパワーサプライなどの電源トランスで発生する磁場の影響を受けやすくなります。オーディオトランスとデバイス自体を適切にシールドしても、予期しないハムやノイズが発生する可能性があります。そのため、GROUNDプッシュボタンのいずれのポジションでも除去できないような異常なハムやノイズが発生した場合は、SWITCH-TRACK™の設置ポジションを移動してみてください。一般的には、特定の方向に短い距離を動かすだけでこのタイプのハムやノイズを解決できる傾向にあります。

 [PHASE] このプッシュボタンは、OUT Bの信号のフェイズ(位相)をINPUTの信号とOUT Aの信号に対して反転させます。ボタンが「IN」ポジションにあるときは信号は同相(0度)で、「OUT」ポジションにあるときは信号が(180度)反転します。一度に複数のアンプを出力させると、位相キャンセルの問題が発生することがあります。その結果、こもった、薄い、音量の下がった、ローエンドや厚みに欠けたサウンドになってしまいます...これを解決する最善の方法は、各アンプが同じ音量レベルになるようそれぞれ設定してアンプを同時に出力したときに、PHASEプッシュボタンの両方のポジションでサウンドを確認します。一ベストな正しいセッティングがされれば、より豊かで、より音量が大きなサウンドになります。

Note: LED BがOFFでPHASEボタンの設定が変更されている場合、LED Bは0度＝緑色、180度＝黄色で1秒間点灯して現在の位相の状態を表示します。

9VDC 標準的なDC電源ジャックで、一般的なセンターマイナス極性の9VDC電源アダプターまたはユニバーサルタイプのペダルボードパワーサプライから2.1mm x 5.5mmのパレルコネクターを接続可能です。詳細については「Specifications」のセクションを参照してください。

Note: DC電源アダプターは付属していません。

WARNING: このデバイスの損傷を防ぐために、AC電源またはその他のDC電源などの指定の仕様以外の電源をこのジャックに接続しないでください。

 [SAVE] このプッシュボタンは、MIDIプリセットやパッチを保存したり、SysExデータダンプメッセージを送信するために使用します。詳細については「MIDIオペレーション」のセクションを参照してください。

Note: STOMP A+Bスイッチを押してから約1秒以内にSAVEボタンを押しても反映されません。

Note: PHASEボタンを押してから約1秒以内、LED B=OFFのときにSAVEボタンを押しても反映されません。

MIDI IN スタンダードな5ピンDINジャックのMIDIインプットで、受信したMIDIメッセージをマイクロコントローラーが解釈して処理します。SWITCH-TRACK™はMIDIプログラムチェンジ、コントロールチェンジ、SysExデータダンプメッセージに対応します。詳細については「MIDIオペレーション」のセクションを参照してください。

MIDI THRU スタンダードな5ピンDINジャックで、MIDIインプットで受信したMIDIメッセージをそのまま他のMIDIデバイスに送信するMIDIアウトプットです。また、SWITCH-TRACK™本体で生成されたMIDIプログラムチェンジとSysExデータダンプメッセージのMIDIアウトプットとしても機能します。詳細については「MIDIオペレーション」のセクションを参照してください。

SPECIFICATIONS

- ・ Minimum Operating Voltage: 9VDC
 - ・ Nominal Operating Voltage: 9.6VDC
 - ・ Maximum Operating Voltage: 12VDC
 - ・ Typical Current Draw: 100mA @ 9VDC
 - ・ DC Adapter (別売): 2.1 x 5.5mmバレルプラグ、センターマイナス
 - ・ Weight: 454g
 - ・ Dimensions (W x D x H): 121 x 96 x 49 mm
 - ・ Switch Height (上記サイズ表記の"H(高さ)"には含まれていません): 18 mm
- * **Note:** 継続的な改善のためすべての仕様は予告なく変更されることがあります。

FAQ & ヒント

1. ベースにもSWITCH-TRACK™を使用できますか？

はい、使用できます！

2. 2台のアンプ両方がONのとき、トーンが変に聴こえるのはなぜですか？

同時に複数のアンプから出力すると、位相キャンセルの問題が発生することがあります。その結果、こもった、薄い、音量の下がった、ローエンドや厚みに欠けたサウンドになってしまいます...これを解決する最善の方法として、各アンプが同じ音量レベルになるようそれぞれ設定してアンプを同時に出力したときに、PHASEプッシュボタンの両方のポジションでサウンドを確認します—ベストな正しいセッティングがされれば、より豊かで、より音量が大きなサウンドになります。

3. 片方または両方のアンプでバズやハムノイズが発生するのですが、除去する方法は？

まず、3ピンプラグのAC電源ケーブルを使用して、両方のアンプが適切にグラウンドに接地されていることを確認してください。2ピンプラグのAC電源ケーブル仕様の古いアンプをご使用の場合は適切なアースを確認いただき、場合によっては新しい機材と一緒に使用する前に修理が必要になることもあるかもしれません。3ピンプラグのAC電源ケーブルをご使用の場合でも、アンプのセーフティグラウンドを無効にしたり、外したり、リフトしたりすることは不当であるだけでなく、電気によるショックや感電の危険をもたらす可能性がありますのでご注意ください。1つの機材チェーンの中で同時に2台以上のアンプを接続するとき、バズやハムなどのノイズの最も一般的な原因となるのはグラウンドループです。OUT Bは、トランスによりアイソレートされ内部スイッチを介してグラウンドリフトされているので、ほとんどのグラウンドループが防止されます。予期せぬバズやハムなどのノイズが発生した場合は、トランスアイソレートされたOUTAとGROUNDプッシュボタンの“OUT”側の設定が相互作用してグラウンドループを安全にリフトします。グラウンドループが疑われる場合は、GROUNDプッシュボタンの両方のポジションを試してみてください。その結果、バズやハムなどのノイズが最小限に抑えられます。

4. TUNER OUTにチューナーの代わりに3台目のアンプを接続して使用することができますか？

使用自体は可能ですが、TUNERアウトは常にONになっていて切り替えたりミュートすることはできませんし、トランスアイソレートもされていません。そのため、GROUNDボタンを使用してグラウンドループへの対策をする必要があります(ハムなどのノイズの原因となります)。

5. 2台のアンプの代わりにミキサー/レコーダーに接続して使用することができますか？

はい、可能です。OUT Aにアンプを接続し、OUT Bにミキサー/レコーダーを接続することもできます—入力インピーダンスは10K ohm以上の必要があります。

6. SWITCH-TRACK™のインプットとアウトプットの前後にペダルを接続することはできますか？

使用可能ですが、特定のヴィンテージ・ファズペダルでは、ローインピーダンスではなくハイインピーダンスの信号が出力されるため、ギターをダイレクトに接続したときと比較するとコントロールの効き具合やサウンドが異なりますのでご注意ください。SWITCH-TRACK™のインプットの前段にこれらのペダルを使用する方が、通常の効果を発揮できます。

7. 各チャンネルごとに別々のインプット端子を装備しているアンプを、SWITCH-TRACK™を使ってチャンネル切替することは可能ですか？

答えは「yes」ですが、アンプメーカーに一度ご確認ください。その答えが「yes」であれば、OUT Aを片側のチャンネル、OUT Bをもう1つのチャンネルに接続して使用できます。

8. 本体のフットスイッチとMIDIを同時に使用できますか？

はい、MIDIコントロールチェンジまたはプログラムチェンジメッセージとSWITCH-TRACK™本体のフットスイッチを同時に使用できます。

9. 「ガルバニック・アイソレーション」とは何ですか？ SWITCH-TRACK™はそれを備えていますか？

ガルバニック・アイソレーションとは、ハムなどのノイズの原因となるグラウンドループの発生を防止するために、電気的および物理的に絶縁された2つの回路について使用される用語です。すべてのオーディオ・アイソレーショントランスはこの構造となっており、メーカーによってこの用語を使用したり、「アイソレーテッド」「アイソレーション」というワードだけを使用するメーカーもあります。すべて同じものですので、SWITCH-TRACK™は「ガルバニック・アイソレーション」を備えている、とすることができます。

10. スイッチング電源方式のアダプター/パワーサプライ(SMPS)を使用した場合に、高周波やその他のノイズが発生することがありますがなぜですか？

SMPSアダプターの中には一般的なものよりもノージーな個体があり、信頼できる大手ブランドのものではありません。もう1つの理由として考えられるのは、単一のアダプターから多数のデバイスに電源を供給することです。それらの多くは高い電流出力値で多くのデバイスに電力供給できることを謳っていますが、それによってノイズの発生や増加を招く恐れがあります。このようなノイズが発生する場合には別のアダプターを試してみることや、ペダルボードの各デバイスに個別に電力供給するのに十分な、アイソレートされた出力を備えたユニバーサルタイプのペダルボードパワーサプライを使用することをお勧めします。より良い電源環境はノイズの少なさへ繋がり、より良いトーンを生み出す結果となります。



——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002

愛知県名古屋市天白区焼山 1 丁目 813 番地

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp

18/02/06